

学校運営協議会の報告書（学校関係者評価）

学 校 名	北秋田市立清鷹小学校	学校運営協議会	10 月	10 日	
校 長 名	大 高 聖 子	開 催 日			
学校教育目標	清らかで たくましく ～みんなで輝け Let's Try～				
項目	1 活性化のための取組				
学校の取組概要	愛 ふるさと協育 清鷹はひとつ 笑顔と幸せを届ける清鷹っ子～北秋田かがやきプロジェクトS ※ふるさと協育を土台とし、友達、教師、家庭、地域と関わることによって、互いのよさを認め合い、何事にも粘り強く取り組み、協力し合って学校を創り上げていこうとする子どもを育む (1) 清鷹小が育む五つの資質(主体性、協調性、創造性、自他肯定感、たくましさ)を重視した教育活動の展開 ①主体的に学習に向かう子ども (ねらいとゴールを明確にした授業づくり、学び合いを支える教師の支援、タブレットの活用) ②互いに認め合い、共に高まろうとする子ども(異年齢活動、あいさつ・返事の活性化) ③心身ともに健康で、粘り強くなぐんばる子ども(がんばりの賞賛、業間運動、食育) (2) 地域と共に歩む学校を目指して ①地域の特色を生かした学校経営(長岐邸、元堰、高速道路、空港、内陸線、たかのす校等) ・「古(いにしえ)から未来へ」…様々な史跡、交通網、福祉施設等を学習材に ・世界遺産の伊勢堂岱遺跡を中心とした取組(大湯小とのオンライン交流、縄文まつり) ・地域の伝統芸能の継承(駒踊り、奴踊り) ②関係機関や地域との協働・連携 ・陽清学園との緊密な連携(年4回の情報交換会の継続) ・比内支援たかのす校との交流会(たなばた集会S61～) ・地域人材、学習材の活用 ・民生・児童委員との連携 ・スクールガード 清鷹ボランティア 学校応援サポーター ・沢口公民館、七日市公民館、自治会館、自治会長会との連携 ・鷹巣中学校区の小・中連携 ・保育園、こども園との架け橋プログラムの推進			自己評価	
	委員の意見等	・今日のなべっこ会の様子を見ても、集団登校の様子を見ても、6年生が1年生の面倒をよく見ている。学年関係なく、自然に、気軽に話しかけている。異年齢活動の効果が出ているのではないかな。 ・縄文まつりでは、来場者に積極的に関わっていた。今後も、いろいろな分野で、力を発揮できるようにしてほしい。 ・縦割りで活動を行うことで、1年生は不安なく小学校生活や学びをスタートできているように感じる。			4
	今後の施策	・幼保小の架け橋プログラムが大切になってくる。保育園での学びと小学校での学びをどのようにつなげていくとよい研修を深め、清鷹小学区にあったプログラムを作成していきたい。 ・学校ボランティアの人数を増やしたり、もっと多くの地域の方に学校に足を運んでもらうためのアイデアを運営協議委員会の方と考えていきたい。 ・学校生活の中で、がんばりを称賛する機会を意図的に設定し、自己肯定感を高め、ほめること、はりのある良い返事ができるようなしていきたい。ほめられることで、気持ちが明るくなり、様々な活動に前向きに取り組めるようになっていきたい。			3
	項目	2 知 育			
	学校の取組概要	【学びイキイキ：主体的に学習に向かう子ども】 (1) 「国語科」を研究教科とした校内研修の推進 (研究主題)「子どもの『分かる・できる』に寄り添う教育をめざして」 ～みんなで見つかる みんなでひろげる みんなでつくる～ (2) 学習習慣の定着に向けた指導 ・「清鷹の学び」「学習の約束」「清鷹の振り返り」の共通実践 ・学習強調月間の設定 (3) 自ら学ぶ意欲と態度の育成 ・効果的な家庭学習(宿題・自主学習)の指導 ・ノート展の実施 (4) 個に応じ、個の力を伸ばすための支援 ・児童の考えを生かす学び合い(「清鷹の学び合い」) ・全学年算数TTによる個に応じた支援の工夫 ・ICT(タブレット)の活用 (5) 朝学習の活用 【火…漢字 水…計算(7年部の協力)、木…読書・音読】			自己評価
		委員の意見等	・学力の下支えとなる学習や生活の規律は、家庭との連携が必要ではないかな。 ・今の保育は、それぞれが好きなのをとことんやる流れである。そのため、集団で約束のもと行動する力やメリハリある活動の体験が不足している。		
今後の施策		・学習や生活の規律に関しては、幼保・中学校とのつながりを大切に、連携していきたい。急務であると感じている。 ・「清鷹小の学び合い」の話型のパターンを増やしたり、話しやすい雰囲気づくりに努めたりすることで、自分の考えを進んで発言できる児童を増やしていきたい。			3
委員の意見等					
今後の施策					
委員の意見等					

項目 3 徳 育	
学校の取組概要	【心ワクワク：互いに認め合い、共に高まろうとする子ども】 (1) 規範意識をもち、楽しい学校生活を送ろうとする児童の育成 ・「清鷹っ子の学校生活のきまり」の共通理解、共通実践 (2) 児童理解に基づく指導や支援の充実 ・学校適応調査「アセス」の実施や「Ho(ほめる) K(聞く) U(促す)」の共通実践 (3) 人権教育の推進（多様性を育む） ① 他校との交流活動（4年・全校：比内支援たかのす校） ② 認知症サポート講座、幼保小架け橋プログラム (4) 自己有用感を高める取組※振り返りの充実（がんばりを認める、ほめる） ① 学級目標の設定、異学年交流（縦割り班集会、清鷹ウォークラリー、スノーフェスティバル） ② 当番・係活動の工夫、道徳コーナーの設置 ③ あいさつ・返事（児童総会、あいさつ運動、校内あいさつロードなど） (5) 不登校、いじめ等学校不適応への対応 ① 児童支援担当を中心とした相談活動により、早期発見・早期対応に努める ② 「いじめアンケート」や学校適応調査（アセス）の活用
	自己評価 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
	委員の意見等 ・異学年交流により、子どもたちの内面的な成長が感じられる。 ・学校アンケートで、「学校が楽しい」「思いやりの心をもって生活している」「みんなの役に立つようにがんばっている」などの項目で、「思わない」「あまり思わない」と答えている児童が若干名いる。少しでも減るように努力してほしい。 ・あいさつや返事、人とのかかわりは、よくなっている。
	今後の施策 ・異学年交流後の振り返りを大切にし、達成感を味わわせていく。 ・活動と価値をしっかりと結び付けてあげることで、自己有用感を高めていく。 ・児童会を中心に、あいさつ・返事運動を行う。あいさつに関しては、家庭と連携し、家庭での「おはよう」「行ってきます」も加える。
項目 4 体育・健康教育	
学校の取組概要	【体イキイキ：心身ともにたくましく、粘り強くがんばる子ども】 (1) 【体育指導】 体力作りと運動意欲の高揚 ① 季節や実態に合わせた業間活動や外遊びメニューの工夫 ② 体育の時間の準備運動の充実 (2) 【保健指導】 自分の健康状態への関心と必要な知識や態度を身に付けさせる ① むし歯予防や肥満傾向の児童への指導並びに「食」に関する指導 ② 学校保健委員会やPTA研修会（正しい姿勢）の実施 (3) 【清掃指導】 全校縦割り班清掃により、協力し合って清掃に取り組む習慣づくり (4) 【給食指導】 望ましい食習慣の形成と感謝の心の育成 ① 栄養教諭による「食」の授業の実施 ② バランスのとれた食事の指導 ③ 1年生保護者給食試食会 (5) スポ少活動の奨励、協力
	自己評価 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
	委員の意見等 ・体力向上に向けた取組は、今後も継続してほしい。 ・基本的な生活習慣や食習慣に関しては、家庭との連携が重要になってくる。自分の部屋にこもらないよう、居間で勉強をさせたり、学校での様子を話させたりするとよいという話も聞いたことがある。 ・今年度から再開する低学年のスキー授業に向けて、計画的に準備を進めてほしい。
	今後の施策 ・栄養教諭や養護教諭による保健や食に関する授業を計画的に取り組んでいきたい。 ・体力向上のために、業間運動の実施や休み時間の遊びの工夫（遊びの中に、体力テストにつながる動きができるような仕掛け）に努めていきたい。